

NEWS RELEASE

動物からたどる東アジアの美術
東アジアの動物—やきものと漆—
～吉祥の願いとさまざまな動物の姿～

近鉄グループの文化事業である大和文華館では、2022年7月8日(金)から8月14日(日)まで、
展覧会「東アジアの動物—やきものと漆—」を開催いたします。

美術の中には、実に多くの動物の姿を見ることができます。龍や鳳凰、魚や鹿、鳥は何のために、どのよう
にあらわされたのでしょうか？ これらの動物には、祥瑞(しょうずい) (良いこと、めでたいことのしるし)とされた想像上
の霊獣もいれば、長生きや子孫繁栄、富貴栄華など良い意味を付けてあらわされた動物、実在する身近な動物も
います。角や牙、鱗や翼を持ち、水中を自在に泳ぎ、空を舞う——人とは異なる姿や能力を持つ動物に対して
抱く畏敬や憧憬の念は、これらの動物や創造された生きものへの信仰を生み出し、また身近な愛らしい動物は 慈
しみ、愛翫する対象ともなりました。東アジアの美術にあらわされた瑞獣や動物の表現には、人と動物の様々な
関係をうかがうことができます。

この展覧会では、古代から近世にかけて、中国や朝鮮半島、日本など東アジアの陶磁器や漆器を中心に、美術
の中にあらわされた動物の表現と、そこに込められた意味について見ていきます。

詳細は別紙のとおりです。



重要文化財
青磁九龍浄瓶
朝鮮・高麗時代



螺鈿水禽文輪花盆
中国・明時代



重要文化財
沃懸地青貝金貝蒔絵群鹿文笛筒
伝本阿弥光悦作 日本・江戸時代

別紙

<1> 展覧会について

1. 名称 展覧会「東アジアの動物—やきものと漆—」
2. 会期 令和4年7月8日(金)～8月14日(日)
3. 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
4. 入館料 一般 630円、高校・大学生 420円 小学・中学生 無料
5. 主催 大和文華館
6. 出陳品数 98件

代表的な展示作品 すべて大和文華館蔵

◎重要文化財 ○重要美術品

【第Ⅰ章 神聖な瑞獣・想像の生きもの—龍・亀・麒麟・鳳凰—】

龍文佩玉 中国・漢時代

白磁蟠龍博山炉 中国・隋—唐時代

◎青磁九龍淨瓶 朝鮮・高麗時代

○銅製貼銀鎏金双鳳狻猊文八稜鏡 中国・唐時代

釉裏紅鳳凰文梅瓶 中国・元時代

鳳凰唐草文軒平瓦断片 朝鮮・統一新羅時代

金貝蒔絵鳳凰唐草文鏡架 日本・鎌倉時代

【第Ⅱ章 吉祥の動物① 魚】

白地黒花鯰文枕 中国・北宋—金時代

青花双魚文大皿 中国・明時代

赤色硝子双魚文蓮葉形皿 中国・清時代

螺鈿魚文盆 朝鮮・朝鮮時代

【第Ⅲ章 吉祥の動物② 鹿】

三彩浮彫鹿文枕 磁州窯 中国・北宋～金時代

白磁青花彩陽刻十長生文六角瓶 朝鮮・朝鮮時代

◎黒味銅地銀象嵌藤花鹿文太刀金具 日本・鎌倉時代

◎沃懸地青貝金貝蒔絵群鹿文笛筒 伝本阿弥光悦作 日本・江戸時代

【第Ⅳ章 吉祥の動物③ 鳥】

白釉褐緑彩蓮池水禽文水注 中国・唐時代

螺鈿水禽文輪花盆(中国・明)

青磁陰刻柳鳥文合子 朝鮮・高麗時代

辰砂陽刻雲鶴文角水滴 朝鮮・朝鮮時代

色絵おしどり香合 野々村仁清作 日本・江戸時代

銅製松喰鶴文方鏡 日本・平安時代後期

蒔絵栗鶉文硯箱 日本・江戸時代

五彩花鳥文小壺 中国・明時代

<2> 展覧会会期中のイベントについて

1. 特別講演

「中国古代の動物造形—その多様性と変容」

(1) 日時・場所 8月14日(日) 14:00から講堂にて

(2) 講師 泉屋博古館名誉館長 小南一郎氏

2. 日曜美術講座

「美術の中の鳥—東アジアの鳥の表現—」

(1) 日時・場所 7月24日(日) 14:00から講堂にて

(2) 講師 大和文華館 学芸部課長 瀧朝子

3. 列品解説

(1) 日時・場所 毎週土曜日 14:00から展示場にて

(2) 解説 大和文華館 学芸部

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、列品解説がスライド解説になる可能性があります。

※何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

※講堂の最大定員は100名です(先着順)。

以 上